「心不全患者の家族に対する療養指導と複合アウトカムとの関連に関する検討」

へご協力をお願い

一心不全で退院された患者さんのうち「看護外来」を受診された患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター患者サポートセンターでは、以下の臨床研究を行っております。
内容をご確認ください。

（1）研究の概要

【研究の背景】

心不全は年齢が高くなるほどかかりやすくなります。高齢の心不全の患者さんは、体の力が弱くなったり、物忘れが増えたり、人との関わりが少なくなったりする「フレイル（虚弱）」の状態になっていることが多いです。こうした状態が重なると、命にかかわることや再び入院するリスクが高くなるのが、いくつかの研究でわかっています。そのため、患者さん本人だけでなく、ご家族など周りの人の支えがとても大切です。

私たちの病院では、2024年4月から心不全で退院された患者さんを対象にした「看護外来」を始めました。外来のときには、できるだけご家族にも一緒に来ていただき、心不全についての説明やアドバイスを行っています。これは、ご家族にも病気のことを理解してもらい、患者さんを支える力になってもらうためです。

【研究の意義】

心不全の患者さんが退院後に健康を保ち、再入院や命にかかわる問題を防ぐためには、ご家族の支えがとても重要です。しかし、実際に「ご家族への説明や指導」がどれくらい効果があるのかは、まだはっきりとわかっていません。

この研究によって、ご家族への指導が患者さんの健康に良い影響を与えることがわかれば、今後の医療や看護の現場で、家族も含めた支援の重要性がより広く認識され、実践されるようになる期待されます。

【研究の目的】

この研究では、心不全の患者さんに対して「ご家族への指導を行ったかどうか」と、「退院後3か月以内に起こった出来事（死亡、大きな心臓のトラブル、心不全による再入院）」との関係を調べます。

この研究では、ご家族への指導が、患者さんの健康状態にどのような影響を与えるのかを明らかにすること目的としています。

そのため、対象調査期間中に心不全で退院された患者さんのうち「看護外来」を受診された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

(2) 研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2025年11月15日まで
対象調査期間：2024年4月1日 ～ 2024年12月31日まで
- ② 今回の調査研究では上記の対象調査期間中に心不全で退院された患者さんのうち「看護外来」を受診された患者さんのカルテ等の治療データを集計し、ご家族への指導が、患者さんの健康状態にどのような影響を与えるのかについて調査します。
情報：
 - ・ 研究対象者背景：年齢、性別、併存疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動)、同居者の有無、認知機能(MoCA-J)
 - ・ 臨床検査：血液学的検査 (NT-proBNP)、
 - ・ 画像検査：心エコー(左室駆出率)
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、看護部の研究費を使用します。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

高崎総合医療センター 患者サポートセンター看護師

研究責任者：悴田 倫子

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)